

# Weekly コラム

令和6年2月13日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## アップル新型ゴーグルは VRのトレンドを変えるか

iPhoneなどで知られる米アップルは新商品、ゴーグル型ヘッドマウントディスプレイ「Vision Pro」を発表しました。ゴーグルを装着すると、自分が見ている風景の中に、巨大なスクリーンが現れ、ゲームや動画、メールなどのアプリが表示されます。選びたいものを見つめるだけで起動でき、操作できるというものです。

自分の部屋はもとより、電車や飛行機など、移動のための座席さえもパーソナルシアターに変えることができます。また、仕事では、装着した人同士は、実物大でのリモート会議や資料の共有が可能になります。また、目の前に大きな画面が現れるので、机やPCモニターがなくても仕事ができるようになります。これは、オフィスの家賃削減につながります。

ただ、これまで、ヘッドマウントディスプレイのような、AR (Augmented Reality: 拡張現実)、VR (Virtual Reality: 仮想現実) 製品は「スマホの次」といわれながらも普及しませんでした。というのも、船酔いのような症状が出る、重いので疲れるなど、使い勝手に関する課題がありました。

アップルが発表した新商品では課題が大幅に改善されており、市場に大きな変化が訪れると期待されています。最大の課題であった船酔いについては、製品発表の場で、アップルは軽減されたことを強調しています。実際に使用した人たちからは船酔いや重さ、疲れについて、「従来の課題は軽減されている。使う上で問題はない」との感想も報告されています。

ただ、ゴーグル型は重さがあるので、疲れを感じさせないためには眼鏡タイプのディスプレ

ーでないといけない、という声もあります。普段は眼鏡として使い、新幹線に乗ってスイッチを入れると大スクリーンが現れる。新幹線の座席が劇場に……。そんな生活を期待する声もあります。ゴーグル型 Vision Pro が AR / VR の幕開けになるか、それともまだ先のことなのか、注目したいところです。

米アップルはゴーグル型ヘッドマウントディスプレイ「Vision Pro」を発表しました。

AR (Augmented Reality: 拡張現実)、VR (Virtual Reality: 仮想現実) などの空間コンピューティング市場は成長産業の一つで、民間のシンクタンクによると、2027年、グローバルの市場規模は4兆円に達すると試算されています。アップルの製品によって、AR や VR が本格的に普及すると期待されています。

その理由の一つは、製品を開発したのがアップルだからということもあります。アップルは Mac を発売し PC に革新を起こした会社です。さらに、iPod が携帯型デジタル音楽プレイヤーを変え、iPhone が携帯電話をガラケーからスマホへ進化させました。今回の Vision Pro が空間コンピューティングの幕開けになるといわれるのもうなずけます。

実際、新商品 Vision Pro には、12 のカメラと 6 つのマイク、5 つのセンサーが搭載され、目や手、声を使って簡単に操作できます。とくに、目の動きに対する精度は高く、反応が良いので使用感は快適。センサーの働きで、手は高く上げずに膝の上に置いても操作できるため疲れにくい、という報告もあります。

何より、3D カメラが搭載されており、写真やビデオが驚くほど美しいのも特徴です。パノラマが観る者を包み込み、撮影した場所に立っているような気分になります。家族との写真を見返すことで、楽しい記憶が追体験でき深い感動を与える。こうした体験は他では味わえません。

2024年初旬、まずはアメリカから販売されます。価格は3,499米ドル(約49万円)と高めです。ただ、仕事でも使え、机やモニターが不要になり家賃が浮きます。何より、これまでにない体験が味わえる、とすると、使い方次第では高いものではなくなりそうです。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。